

『We♥鏡中』

令和8年7月7日

☆≡「〇〇することが当たり前」な学校に…

本校以外のある学校の登校の様子を見たときに、自転車通学のほぼ全員の生徒がヘルメットをかぶり、あごひもをつけています。

本校でも、しつこく何度も、そして、色々な形で話し、呼びかけし、注意しています。

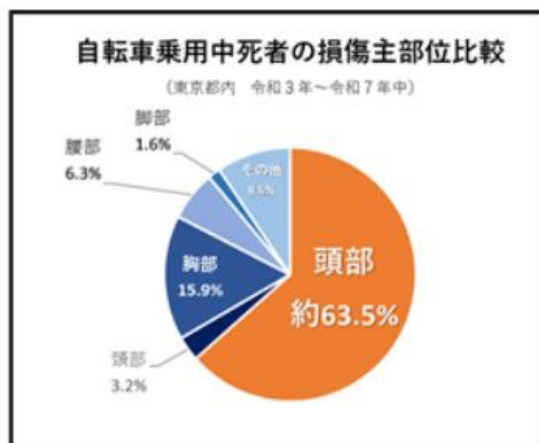
それでも、ヘルメットを学校の校門の前だけヘルメットをかぶったり、あごひもを付けていなかったりする生徒が多数です。

表題を『「〇〇することが当たり前」な学校に…』としましたが、どうしたらヘルメットをきちんとかぶって全員の生徒が自転車にのる学校になるのだろうかと思い悩みます。

ヘルメットは命を守る要だと考えています。

警視庁のホームページによると、『自転車事故で死亡した人の約63.5パーセント(注記1)が、頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメットを着用している場合と比較して、着用していない場合の致死率は、約2.3倍高くなっています。自転車用ヘルメットを着用し、頭部を守ることが重要です。』とされています。

(注記1)令和3年から令和7年までの東京都内における自転車乗用中死者の損傷部位の割合



<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/menu/helmet.html#cms20C6C>

私たちはあきらめず、これからもお子様の命を守るために訴え続けます。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

『「〇〇することが当たり前」な学校に…』という表題は、ヘルメットだけでなく、学習に関しても言えることです。

「リセマム」という、保護者・教育関係者向けの教育と受験のニュースサイトで 7/2 に配信された、『宿題のみ「家庭学習 0 分層」が増加、家庭環境による差も拡大』というニュースが配信されました。元々は、ベネッセ教育総合研究所と東京大学社会科学研究所の共同研究による論文です。

<https://s.resemom.jp/article/2026/07/02/86635.html>

https://benesse.jp/berd/up_images/publicity/pressrelease_20260630.pdf

https://benesse.jp/berd/shotouchutou/research/detail_260331-1.html

まるで、本校の生徒の状態そのままではないかと思うような調査報告です。

本校は、今年度から唐津市の学力向上研究指定校に指定されたことに加え、文部科学省から教育課程柔軟化サキダリの研究指定も受け、これまで以上に学力向上にも取り組んでいます。ご協力をお願いします。